



セネガルの子どもたちに教育を！

バオバブの会 ニュースレター

2013年 No.1

(通巻27号)

2月17日発行

2月も半ばを過ぎ、寒さの中にも春の兆しが少しずつ感じられるようになりました。

皆様方にはお元気でお過ごしでしょうか。

バオバブの会では、去る1月27日、年次総会を開催し、任意団体としての6年目をスタートしました。

本年は、6月にTICADV（第5回アフリカ開発会議）が横浜で開催されるのに伴い、例年以上に多くのイベント参加が予想されます。また、セネガルに於いても、いくつかの新規事業を計画しております。

着実に活動を進めてまいりますので、一層のご支援をお願い申し上げます。

★ よこはま国際協力賞受賞 ★

バオバブの会は、この度、第3回『よこはま国際協力賞』を受賞しました。2月9日のよこはま国際フォーラムで行われた授賞式の模様を、柳田さんにレポートしていただきました。



♥♥♥♥♥ よこはま国際協力賞受賞報告（柳田） ♥♥♥♥♥

2月9日、バオバブの会が「よこはま国際協力賞」をいただきました。この賞は、国際協力活動を行い、かつ横浜の文化づくりや町づくりにも貢献している団体に贈られます。今年も第3回。バオバブの会はセネガルでの教育支援や横浜の小学校などでの文化交流活動等が認められての受賞です。

表彰はJICA横浜で開かれた『よこはま交際フォーラム』にて行われました。スタート前から各団体のかたたちが集まり、ディウフ会長の民族衣装の話で盛り上がるなど、早くも和やかな雰囲気。いざ本番となるころには、だれもがバオバブの会が受賞することを知っていたのですが……。主催者の横浜 NGO 連絡会代表がバオバブの会に授与することを発表すると、「え？私？」と、とりあえず驚いてみせたディウフ会長(笑)。続く受賞の挨拶では、教育が社会を変えること、セネガルと横浜の掛け橋になろうという意志などをお伝えし、スライドを使って活動内容やその成果も報告しました。通常は成果を出すまでに年月がかかるといわれる教育支援ですが、バオバブの会の活動では、学校に通う子どもたちの増加や中学への進学率上昇など短期間で成果を上げたことに、来場者のかたがたは感心されたようでした。

この受賞により、チャリティーオークション「ハマオク」の収益から賞金 10 万円が贈られます。「ハマオク」の仕組みは、企業や市民がモノを出品し、その売り上げを「よこはま国際協力賞」の受賞団体に贈呈するというものです。

チャリティーオークション「ハマオク」<http://auction.rakuten.co.jp/event/charity/hama-auc/>

(注：今年のオークション開催期間はまだ発表されていません)

ご褒美でもあり、励ましともなった今回の受賞。「私はこれを旅費にしてセネガルに帰りたい、なんてことはいけません(笑)。賞金は会員のみんなでいただいたもの。みなさん、どうもありがとうございました」とはディウフ会長からバオバブの会会員のみなさまへのメッセージです。



★ 年次総会報告 ★

1月27日(日)、横浜駅西口の神奈川県民サポートセンターにて、2013年度の年次総会が開かれ、2012年度活動報告、2012年度決算、2013年度活動計画、2013年度予算などに対し、討議がなされました。一部をご紹介します。

* 運営委員改選

任期中ではありますが、副会長の坂本さん、副事務局長の田口さんをご都合で運営委員を退任することになりましたので、運営委員会の提案を承認し、以下の通り決定しました。

副会長 飯山(香)さん

副事務局長 柳田さん

* 2013年度活動計画

国内活動

- ・イベント参加 青葉国際交流ラウンジ企画協力(後記)
Africulture 主催「セネガル物語」参加(後記)
港北国際交流ラウンジ企画協力(詳細は次号以降)
NGOゴスペル広場主催「第4回 GOSPEL FOR PEACE」参加(詳細は次号以降)
外務省主催「アフリカン・フェスタ2013」参加(予定)
Yokohama C plat 運営主体「よこはま国際フェスタ2013」参加(予定)

- ・ホームページの充実

国外活動(セネガル)

・サルム・ジャネ小学校、サーバシ・チャム小学校、ンジャゴ小学校、サルム・ジャネ中学校、障がい児を支援する教師の会に加えて、クール・マジヤベル小学校、ンジャオ・マリック小学校、サーバシ・チャムアラブ語学校に定期支援開始。クール・マジヤベル小学校には、その支援金で障がい児支援を提案。

- ・ンジャゴ小学校に図書館を建設。
- ・サルム・ジャネ小学校に1教室を増設し、ベンチ付き長机を整備。
- ・クール・マジヤベル小学校と日本の小学校との学校間交流。

♥ ダカール訪問報告

昨年10月にダカールを訪問された柳田さんの、最新のダカールの印象。首都ダカールは予想以上に書物、携帯電話、インターネットカフェや無線LANのスポット等が普及していて、電力等のインフラも良好。半面、地域格差の増大が心配、ということでした。

★ イベント案内 ★

主催：青葉国際交流ラウンジ 協力：バオバブの会 JA 田奈

「マサンバさんがやって来る アフリカ連れてやって来る」

日時・場所・企画

3月3日(日) 10:00~12:00 JA 田奈調理室 セネガル料理教室(マフェとアターヤ)
13:30~15:00 青葉区区民交流センター 紙芝居と絵本とゲーム

東急田園都市線田奈駅北口より、JA 田奈は徒歩6分、青葉区区民交流センターは徒歩1分。

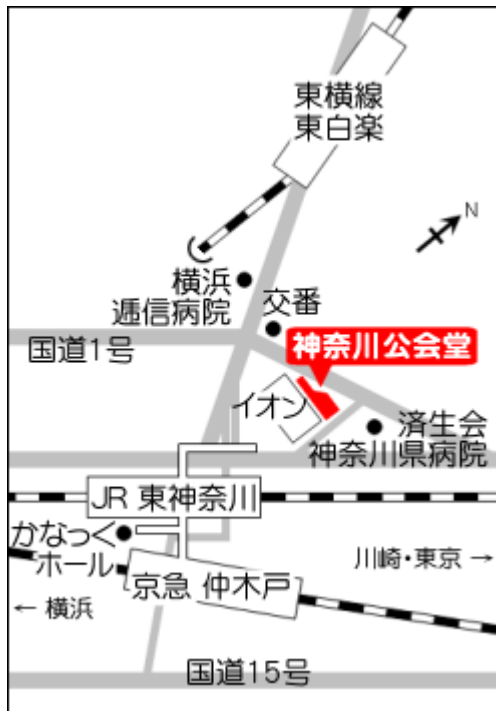
参加は無料。電話で青葉国際交流ラウンジ045-989-5266へお申し込みください。

主催：Africulture 共催：神奈川県 協賛団体：バオバブの会 WE21ジャパンかながわ

アフリカ音楽コンサート 見て、踊って、アフリカを支える力へ～

「セネガル物語」 <http://www7a.biglobe.ne.jp/~africulture/>

日時：2013年3月16日(土) 11:00~18:00 会場：神奈川公会堂



221-0821 神奈川県横浜市神奈川区富家町1-3

JR 東神奈川駅/京急 仲木戸駅 徒歩4分 東急 東白楽駅 徒歩5分

入場料(コンサートのみ。他のイベントは無料)

前売り 500円 当日700円

・WE ショップかながわ、アフリカルチャー各種イベントにて販売中

・または、往復はがき、FAX、Eメールに、氏名・住所・希望枚数を明記の上、お送りください。

往復はがき→〒221-0842 横浜市神奈川区広台太田町3-8 神奈川県区民活動支援センター『子がめ21』

FAX →045-314-8890

Eメール →africulture@kjf.biglobe.ne.jp

プログラム：レクチャー FGM 廃絶を支援する女たちの会 11:15~12:00

バオバブの会 12:30~13:15

アフリカ太鼓(ソウルバ)ワークショップ(先着10名様) 13:30~14:15

コンサート 15:00~17:00

参加団体パネル展示、グッズ販売、セネガル料理販売もあります。

バオバブの会は、セミナー、展示による活動報告の他、ロビーにてケベサック(セネガルの女性グループ製作のアフリカン・プリント布バッグとポーチ)、アフリカ関連児童書他の販売を行います。

★★★★ ことわざで開く、アフリカ文化の窓 ★★★★★ 第7回 『一夫多妻』 上

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ (訳・文責 水野)

現在、地球上で最も広く討論されているもののひとつは、男女間の平等・不平等についてであり、それよりは少ないかもしれませんがしばしば話題にのぼるものは、一夫多妻です。この二つは、地球上のほとんどすべての社会に、多かれ少なかれ異なる形で、また、合法的な、または単に慣習的な規則と共に存在しています。

このうち、一夫多妻は、これが存在する国々では、現在、さかんに議論されています。日本ではそれはありません。なぜなら、日本の人は、私の母は夫を同じくする 2 人か 3 人の女性と一緒に暮らしていたということを聞くと、しばしば衝撃を受けるようです。私が、初めて、日本では親が子どもと一緒にお風呂に入る、ということを聞いたときと同じです。これは、私にとっては、まず、不道徳以外のなにものでもなかったからです！しかし、20 年以上、日本の文化に浸った今では、ごく自然なこととなりました。それは、以前、ある日本女性が私に 1 枚の写真を見せ、「私の夫ともうひとりの奥さんよ」といったのと同じです。彼女は、私が日本人化した (!) のと同じくらい、アフリカ人化していたのです。このように異なった文化や習慣に出合ったときは、冷静になって性急な批判を控え、まずは説明と理解を優先することが必要なのではないでしょうか。

さて、一夫多妻には、すべての社会現象と同じく、批判する人と擁護する人がいます。批判する人は、一夫多妻は、女性が男性の犠牲になる、多くの悪習と精神的・肉体的暴力のひとつであると信じています。私たちの社会から追放するべき不正義だというわけです。また、彼等の中には、一夫多妻はイスラム教から生まれたものであるとあって、イスラム教を批判する人もいます。私はイスラム教徒ではありますが、イスラム教のすべてを擁護しようとは思いません。イスラム教の中には、現代の生活に適合させる為、変えたほうが良い規則があるとさえ思っているからです。しかし、そのような私でも、一夫多妻はイスラム教から生まれたというのは大きな間違いだということができます。一夫多妻はイスラム教の成立以前から存在していたものです。イスラム教は、まずは一夫多妻を思いとどませ、ついで、これに制限をかけたのです。聖書にしろ仏教の経典にしろ、どのような他の経典もこの問題については言及していませんし、制限を設けてもいないのです。

一夫多妻を擁護する人は、統計上、常に、地球上の女性の数は男性のそれをうわまわるので、一夫多妻が、経済的に安定し、調和のとれた、健康的な社会を維持する唯一の方法であるということを、その弁護の理由にしています。私個人はその立場ではありませんが、アフリカ、特にセネガルの一夫多妻についてよく知っている者としての観察を述べたいと思います。

アフリカの家を性格づける二つの要素は、大家族であることと、家事と「家」を永続させるために子どもを産むことの責任が、ひとえに女性にかかっていることです。

では、なぜ、アフリカの家は大家族なのでしょう。それは、アフリカ人にとって、血縁が大変に大きな意味をもつところからきています。親族の関係は、規則によって厳格に決められています。家族に対する義務と権利を決定する規則は、民族や地域によって異なりますが、確かに存在します。

セネガルのウォロフ族の場合は次のようになっています。

お母さんの姉妹は「お母さん」、その子どもたちは「兄弟・姉妹」です。また、お父さんの兄弟は「お父さん」、その子どもたちは「兄弟・姉妹」です。つまり、ウォロフ語では、このような場合、「いとこ」という言葉を使わないのです。この規則の良い結果として、子どもがお父さんかお母さんを亡くしたとしても、もしそのお父さんに兄弟がいたり、お母さんに姉妹がいるなら、その子どもの運命はそれほど大きく変わりません。ですから、子どもを持つことができない人は、しばしば、男性なら兄弟の、女性なら姉妹の子どもを養子にします。私は「大岡越前物語」の中で似たような話を読んだことがありますので、この慣習は、アフリカのように規則だっただけではなかったにしても、かつての日本にも存在していたと思います。いくつかの国では、もし妻に子どもができなければ、夫はもうひとりの妻を娶らねばならないともされているようです。

反対に、ウォロフ語では、「おじさん」（お父さんではなく、お母さんの兄弟）の子どもを「いとこ」と呼んでいます。「おばさん」（お母さんではなく、お父さんの姉妹）の子どもも同様です。そして「いとこ」同士の関係は特殊なものです。つまり、おじさんの子どもは自分にとって「主人」であり、おばさんの子どもは自分にとって「召使」です。「召使」は、「主人」の誕生を初めとする人生の慶事の際、お祝いの食事を用意したり、招待客を接待する義務があります。そのかわり、ダンスなどでお祝いの席を盛り上げた後、贈り物を、みんなに分配する前に、まず最初に受け取る権利があります。「主人」は、年に一度、または何かの機会に、「召使」に衣服を贈る義務があります。この衣服は新しく購入するものではなく、「主人」が持っている一番良い衣服であることで、象徴的な意味をもっています。また、いとこの間では、冗談をいったり、からかいあったりすることが許されています。このような場合、喧嘩になったのを見たことはありません。喧嘩はタブーとされているからです。

以上のようなアフリカ社会の家族の規則を知れば、なぜ、アフリカの家庭には、夫婦とその子どもの他に、姪や甥や夫と離婚したか死別した姉妹や、子どもがいない年取った「おじさん」がいるのかが、その結果、なぜアフリカの家庭は「大家族」なのかが理解できると思います。

次に、二つ目の要素、家事と「家」を永続させるために子どもを産むことの責任が、ひとえに女性にかかっていることに移りましょう。

家事の中身を想像してください。女性は、すべての家族の為に、1日に3回、食事の支度をするのです。そして、

1. 食事はすべて手で作ります。
2. 食事に使う穀物の準備は、脱穀から精製まで、2日も3日かかります。
3. 飲んだり炊事に使う水の井戸は、村の真ん中にあります。それで、家の中にいくつもある大きな水甕をいつもいっぱいにしておく為に、1日に何度も井戸まで行かなければなりません。
4. 料理に使う材料を得る為に、森に行くこともあります。
5. 家事には、たくさんの部屋や廊下の掃除も含まれます。
6. 洗濯もすべて手で行います。

ですから、すべての家事をこなす為に、女性は一番早く起きて、夜は一番最後に床に就くことになります。その上、小さい子どもの世話があります。食べさせたり、着せたり、入浴させたり。これでは、女性は、ほんのひとときでも休息をとれるのでしょうか？

女性が担う役割の大きさと重要性から、女性はアフリカの「家の柱」ということができます。もし彼女が病気になったら、家族はどうなるのでしょうか？ 家庭はまわっていくのでしょうか？ ここに、一夫多妻の擁

護者が言い立てる、一番の理由があります。ナイジェリアのヨルバ族が「一人しか妻を持たないのは、弓に一本しか綱がないのと同じ」というように。

また、たとえ亡くなったり病気になったりしなくても、女性にも休息が必要なのではないのでしょうか？とすれば、休息をとる為の唯一の方法が、夫が複数の妻を持つのを受け入れることになるわけです。コンゴのバントゥー族が「肉を料理している女は、犬が彼女の周りに来ないことを願う」ⁱⁱⁱといたとしても、多くの女性は、むしろ喜んで、夫が二人目、三人目、四人目の妻を持つことを受け入れるのです。その分だけ、夫の世話をしなくてよく、家事の休みもとれるからなのです^{iv}。(次号に続く)

i 「あなたがたは妻たちに対して公平にしようとしても、到底出来ないであろう。あなたがたは（そう）望んでも。偏愛に傾き、妻の一人をあいまいに放って置いてはならない」 コーランの第四章（婦人章）第129節

ii 「もしおまえたちが孤児を公正に扱いかねることを心配するなら、気に入った女を2人なり3人なり、あるいは4人なり娶れ。もし妻を公平に扱いかねることを心配するなら、1人だけを、あるいは自分の右手が所有するものを娶っておけ。いずれにも偏しないためには、これがもっともふさわしい。」 コーランの第四章（婦人章）第3節

このように、イスラム教は、それまでは何らの規制なしに一夫多妻が行なわれていたのを、妻は4人までとし、しかもそれぞれを公平に扱うことという条件をつけて、一夫多妻を制限したものだと考えられます。

iii 女性は、自分の夫の側に、他の女性が近づかないことを願う、という意味

iv 一般的な一夫多妻の規則では、1人の妻は、当番の日、家族全員の昼食・夕食・翌日の朝食とそれに伴う家事一切を引き受け、その夜は夫と寝所を共にします。ですから、4人の妻がいた場合、4日に一度、自分の番がまわってくるわけです。残る3日は、休息や、日数のかかる食事の準備などにあてることになります。

バオバブの会

〒240-0052 神奈川県横浜市保土ヶ谷区西谷町993-35

TEL&FAX 045-373-0059

E-mail : hajmass@hotmail.com

HP : <http://the-baobab.org>

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行八重洲通り支店普通口座no.1523673

ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215